

地域おこし協力隊通信 (No. 62) 誰もが住みたい町に

かねてより取り組んでいる古房集落の空き家再生について、その後のことを書きます。

このお宅はご年配の女性がひとり暮らしをしていますが、娘さんの住む県本土へ転出したことをきっかけに空き家となりました。その後、ご近所の方から地域おこし協力隊へご相談をいただき、大切な家を残すために修繕のお手伝いをするに。4か月ほどかけ、畳をフローリングに変えたりと、手作りリノベーションを行いました。その過程では同じ集落の方が草払いを手伝ってくれたり、お茶を一緒に飲んで思い出を語り合ったりと、ひとときの寄り合いの場となっていたことも非常に印象的でした。

その空き家ですが、なんと2月に広島県からの移住者を受け入れることができました。この方は、種子島へ旅行に来てから移住する時機をうかがっており、ちょうどこの空き家再生の取り組みをインターネットで見て、住むことができないかと問い合わせをくれたのです。運命的なタイミングに縁を感じざるを得ませんでした。



写真左 2月に転入した品川さん

ないことはなんでも聞いてね」と親切にしてくれる方など、思えば、コロナ禍で人とのつながりが希薄になっていく中、地域の仲間が増えるというのは嬉しいことだと思います。こうして温かく迎え入れてもらえたこともあり、集落の加入も快諾してくださいました。

今、集落をはじめとした地域コミュニティの存続が危ぶまれています。児童数も減少を続け、担い手となる世代も首都圏へ流出しています。そんな状況だからこそ、空き家の活用などを通じて地域の仲間が増え、みんなの「住みたい町」が未来へ残っていけるよう、日々仕事に励んでいます。

―湯目知史(ゆのめともふみ)―
中種子町地域おこし協力隊員。宮城県出身。種子島の美しい瞬間を文字にして伝えるライター。

平均落札額 61万9千円 種子島子牛せり市

	性別	頭数	2月平均	前回平均	前回対比	前年同期対比
中種子	めす牛	97	535,959	579,933	△ 43,974	△ 93,889
	去勢	122	670,746	722,500	△ 51,754	△ 72,094
	計	219	611,046	664,071	△ 53,025	△ 79,292
市場全体	めす牛	233	547,871	596,754	△ 48,883	△ 82,215
	去勢	333	670,453	724,844	△ 54,391	△ 73,352
	計	566	619,991	673,768	△ 53,777	△ 75,978

※単位：円(税抜き価格、速報値)

種子島子牛せり市が、2月21・22日に種子島家畜市場であり、平均落札額は61万9千円となりました。

